

NPO紹介シート

作成日 平成19年7月20日

作成者 三好 達也

福祉・環境

法人格	フリガナ	アクティブボランティアニジュウイチ	フリガナ	クスノ ヨシカズ	団体設立日	平成5年10月1日			
有	団体名	アクティブボランティア21	代表者名	楠野 義計	法人設立日	平成11年4月8日			
活動地域	松山市内			正会員	賛助会員	事務局	ボランティア		
主たる活動の種類	福祉・まちづくり			個人	37人	有償	26人	有償	
従たる活動の種類	NPO支援・情報化社会の発展・環境保全など			団体		無償		無償	
所在地	〒790-0951 松山市天山2丁目4番17号			= ~					
	単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金		
TEL	089-932-7100	18年度	67,831	36	181	35,917	31,613	80	
FAX	089-932-7117	17年度	85,494	29	0	51,563	33,594	70	
Eメール	active21@atomgroup.net	16年度	88,484	36	0	50,278	37,800	370	
ホームページアドレス	http://www.npo-activev21.or.jp/								

*下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>今後、ますます深刻になる少子高齢化社会においてボランティア、およびその精神の広がりを願って「行動するボランティア」「自ら学び、自らを高めるボランティア」「参加し、支えあい、広がるボランティア」を基本方針として設立しました。</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>

主な活動実績

平成12年	4月	ホームヘルパー2級要請講習開講(愛媛県指定)
	4月	松山市緊急通報・介護相談受信センター開設(松山市委託)
	7月	愛媛市民活動ネットワークサロン受託運営(愛媛県委託) 14年3月まで
平成13年	2月	IT講習(パソコン教室)開講(愛媛県委託)
	6月	ボランティアミュージカル「みんな天へ向かって」上演
平成14年	5月	NPOパワーアップ支援事業開始(愛媛県委託) 16年度まで
	7月	えひめEM普及協会事務局担当
平成15年	4月	EMによる松山城の堀水浄化活動開始 18年3月まで
	6月	ホームヘルパー1級養成講習開講
	11月	環境市民活動推進団体事業(EM普及啓発事業)松山市より受託
平成16年	1月	シニア生活情報アドバイザー養成団体資格取得、四国初(財団法人ニューメディア開発協会認定)
	4月	ガイドヘルパー養成講座課程開講(松山市指定)(視覚障害者・全身性障害者移動介護従業者養成研修課程)
	6月	えひめ地域ITリーダー養成事業(愛媛県委託)
	7月	ケアマネージャー試験対策ゼミ開講(愛媛県委託)
	9月	障害者対象OA訓練開始(愛媛県委託)
平成17年	4月	まつやまNPOサポートセンター受託運営開始(松山市委託)
	8月	愛媛県指定「愛りバー・サポーター」決定。川附川美化活動開始

今、力を入れている活動

ホームヘルパーなど介護従業者の養成
パソコン教室などIT講習
EM(有用微生物)による環境浄化
まつやまNPOサポートセンターの運営(松山市委託)

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化社会の担い手と福祉人材の育成 ・ボランティア精神と活動の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・アトムグループの協力・支援を得ており、福祉ボランティアの受入れ、ヘルパー養成講座などがスムーズに実施できる。 ・専従の事務局職員を配置し、事務局体制が整っている。
<p>今後、団体に必要と思われること、モノなど</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ N P Oとの協力、連携 ・ 本来目的を達成するための新しい事業展開 	
<p>目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と?どんな風に? (アイデア程度でいいです)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉人材育成と福祉第三者評価 ・ 保健、医療及び福祉のネットワーク作り ・ 生活環境、河川浄化など身近な生活環境問題に取り組む市民活動団体との協力 (技術支援など) ・ シニアネットワーク作り (えひめ地域ITリーダーとの協働にて) 	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力		合計:	27
◆様々な手法による課題・ニーズの把握			
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。			4
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。			3
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。			4
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。			4
◆課題・ニーズを把握するための環境			
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。			3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。			3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。			3
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。			3
2. 広報を活かす力		合計:	23
◆様々な手法による広報活動			
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。			4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。			3
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。			3
◆広報の対象についての調査、活用			
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。			3
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。			2
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。			3
◆広報結果の調査、整理			
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。			2
◆広報活動の環境			
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。			3
3. 組織を育てる力		合計:	27
◆人材の受け入れ、育成			
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。			4
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。			2
◆組織全体で進める体制			
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。			3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。			4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 3 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 3 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 4 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 4 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 28

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 3 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 3 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 4 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 4 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 4 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 26

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 3 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 4 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 2 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 3 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 3 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 4 |
|--------------------------------------|---|